



DeSci-Inspired Japan Model

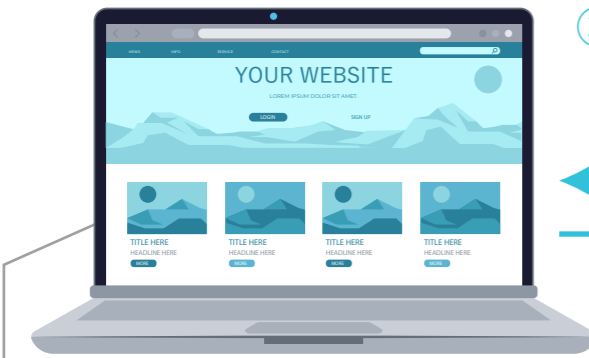
～ VC（デジタル証明書）技術で実現する、
DeSciのエッセンスを盛り込んだ日本発・信頼に基づく新たな連携促進モデル～

「DeSci-Inspired JAPAN Model」は、海外の学術分野において大きな盛り上がりを見せている「DeSci」のエッセンスを、VC（デジタル証明書）技術を用いて日本に導入する連携促進モデルです。VCを用いることで真正性が高い状態で当事者や関係者がコメントを投稿し、その内容を公開することで、研究者や起業家の正当な評価や新しい繋がりが生まれます。

【本モデルが生み出す価値】利用者にとって、「サービスの良さがより広く伝わる」「信頼できる人から応援やアドバイスがもらえる」「安心して連携できる」などのメリットが生まれます。いわば「**デジタル版の推薦状**」を通じて、信頼できるコミュニティが広がっていきます。

本モデルの仕組み(例)

Webサイト



紹介記事

③許可後、サイト管理者が
確認の上、コメントを
サイト掲載

②コメント
掲載確認

①コメント投稿



当事者、関係者、
サイト管理者等

【新規性】
コメント投稿前に
VCにより
電子的に確認



この取組は
こういうところがとても良い!

協力者



VCを用いて
アドバイスや応援
コメント等の協力

協力者の意見が公開されると、
多くの方に取組の良さが
しっかり伝わる!



研究者や学生、起業家等

閲覧した方



なるほど理解が深まった。
上手く連携できないかな。

VC (電子証明書) 技術とは？

VCとは？

VC (Verifiable Credential) は、「改ざん検知に加え、発行元の正当性を即座に検証可能なデジタル証明書」として本人認証や実績証明、信頼性の担保に活用できる次世代の分散型ID技術です。

- 例えば顔認証などの情報を元に、発行元が電子的に証明することで、第三者にも信頼性を示せます。簡易的/厳格な手段を含めて様々な証明手段があります。
- 個人のプライバシーを守りながら情報の信頼性を高めます。
- VCは、Web3業界で使われる「トークン」とは異なり金銭的価値を持つ要素が無く、法規制リスクが低く、安心・安全な運用が可能です。

「DeSci-Inspired Japan Model」により、「研究者・起業家等の取組」について、高い真正性が確保されたまま容易に様々な意見を掲載することで、その価値が見える化され、健全なマッチングやコミュニティ形成を図ります。

トークンとVCの違いを示すイメージ



トークンは、例えばビットコインのように換金性があるものが多いです。



VCは、本人であることを証明するための「身分証明書のデジタル版」に関する技術です。

VCを活用したコメント例

この技術は、これだけのイノベーション性がある！

研究者への
応援コメント



サービスを導入して具体的にこういうふうに関わりました！

サービス導入者
からのコメント



海外ですごく普及する
かもしれないサービスです！

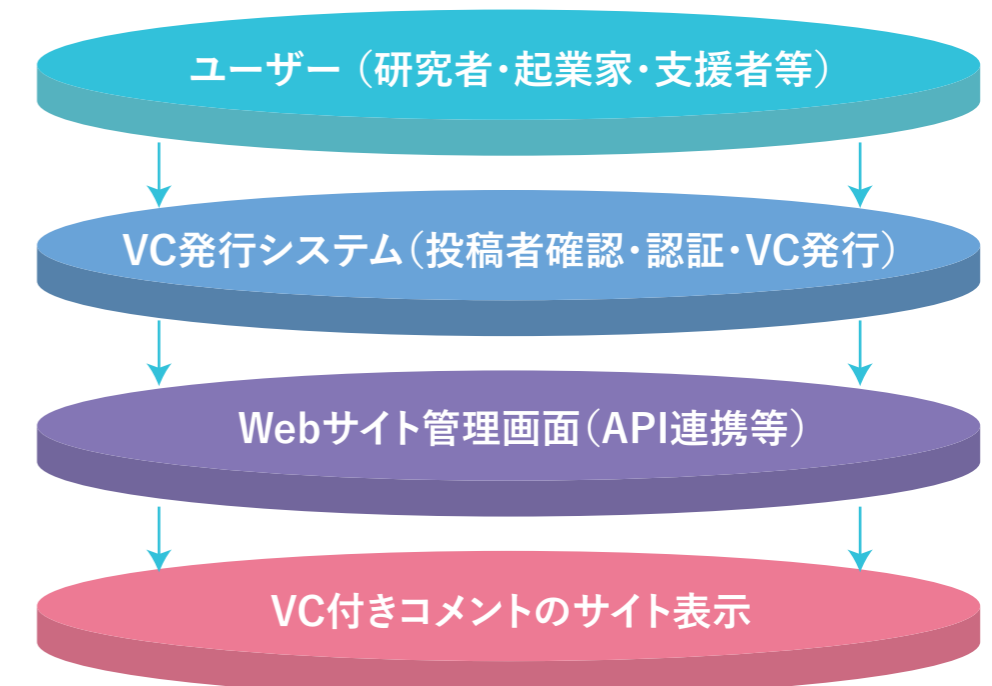
起業家へのコメント



支援者の
実績バッジ表示



VCを活用したWebサイトへのコメント付与のフロー図(例)



なぜこのような仕組みか？(興味のある方はご参考ください)

海外のDeSciモデル

DeSciとは、トークンを用いて、研究者や学生、起業家等の取組に協力者が金銭的支援等を行うエコシステムモデルです。

→様々なステークホルダーの連携を実現します。

(例:企業と大学等の連携づくり)

→支援を行うことでインセンティブが発生します。

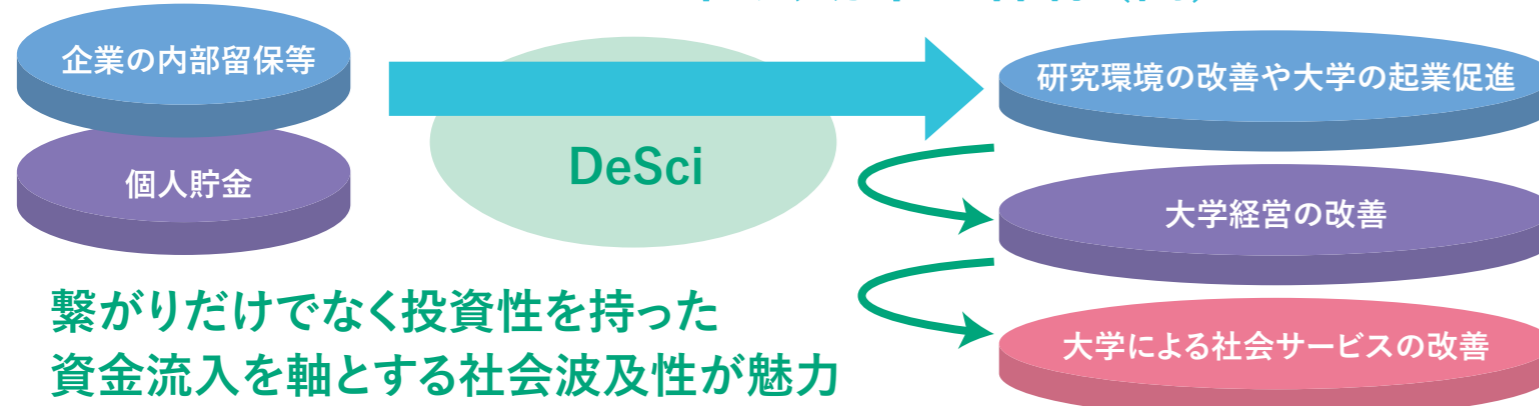
(例えば100万円相当の金額を企業が大学に研究費として支援をすると、後に200万円相当のリターンが返ってくる可能性があります)

※詳しくは専門用語(DAOやトークンなど)の羅列になりますが、おおよそ上記のニュアンス程度でご理解いただければ問題ございません)

DeSciにより生まれる協力関係



DeSciによる社会効果全体像(例)



しかし日本ではすぐの
DeSci実現は困難

・トークンに証券性があると日本では実現困難です(投資家保護)

※日本が海外のDeSci系DAOのトークンを購入することも厳しく制限されています(日本の取引所で取引対象トークンとして現状許可されていません)。

※そもそも海外でもトークンの取り扱いに関わる規制強化が現在議論されています。トークンに証券性を持たせられないと、コミュニティへの貢献活動を行うことへのインセンティブが働きづらく、DAO内のコミュニティが活性化しづらいというハンデがあります。

ならば、...

海外のDeSciの良いところを見習いながら反省点を考慮しつつ、「次世代の分散型ID技術(VC:Verifiable Credential等)」を活用し、日本の性質にあった「投資家保護」「安心・安全」なコミュニティ運用モデルを作ろう、というのが「DeSci-Inspired Japan Model」です。

すなわち、本モデルは下記が特徴です。

●UXを最重視しています。DAOの形態を取らず、誰にも抵抗感が低いツール(Webサイト等)をコミュニケーション手段としています。(トークンに証券性がないためにDAOの形態を取るメリットが薄れるのであれば、中央集権型でも参加者にメリットがある運営ができれば良いと考えています)

●Web3技術の一種であるVCを有効活用します。

●研究者、学生、スタートアップ等の産学コミュニティを中核とし、VCエコノミー(≠トークンエコノミー)により、挑戦者の評価・成長に資する仕組みとします。